

住宅を対象とした

平成25年中

侵入盗の実態

愛知県版

住宅を対象としたドロボーの件数が7年連続ワースト1位!!

実態編



caution caution caution caution caution caution caution caution caution caution

1 愛知県の被害件数は全国ワースト1位

愛知県は、住宅を対象とした侵入盗の件数が平成19年から平成25年まで7年連続「全国ワースト1位」です。さらに、平成25年はワースト2位との差が2,500件以上あり、全国的に見ましても突出した発生で、危機的な状況が続いています。

住宅を対象とした侵入盗

	空き巣	忍込み	居空き
7,467件	5,899件	1,261件	307件
前年比+3.6%	前年比+7.9%	前年比-13.0%	前年比+5.5%
全国ワースト1位	全国ワースト1位	全国ワースト2位	全国ワースト1位

住宅対象侵入盗：空き巣、忍込み、居空きの3つを指す
 ○空き巣…留守中の住居に侵入し、金品を盗む手口
 ○忍込み…夜間就寝中などに侵入して金品を盗む手口
 ○居空き…入浴中、食事中などのスキに侵入して金品を盗む手口

2 市区町村別件数ランキングと犯罪率

1位「一宮市」、2位「春日井市」、3位「豊田市」

あなたの住む街は？〔多発上位50市区町村(名古屋を除く)まで〕

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
1位	一宮市	453	3.26
2位	春日井市	358	2.95
3位	豊田市	310	1.89
4位	中川区	281	3.02
5位	北区	276	3.74
6位	豊橋市	270	1.91
7位	岡崎市	264	1.89
8位	守山区	249	3.66
9位	西尾市	226	4.02
10位	緑区	212	2.35
11位	安城市	206	3.01
12位	名東区	183	2.54
13位	千種区	182	2.24

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
14位	西区	180	2.70
15位	稲沢市	164	3.37
16位	刈谷市	158	2.68
17位	中村区	155	2.24
18位	小牧市	153	2.70
19位	北名古屋	143	4.38
20位	尾張旭市	140	4.44
21位	清瀬市	132	5.19
21位	豊川市	132	2.02
21位	天白区	132	1.86
24位	あま市	130	4.08
25位	江南市	118	3.23
26位	昭和区	112	2.09

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
27位	中区	110	2.19
28位	東区	109	2.80
29位	南区	104	1.71
30位	大府市	103	2.98
31位	港区	93	1.60
32位	日進市	89	2.56
32位	瑞穂区	89	1.86
34位	東海市	88	1.98
35位	瀬戸市	87	1.73
36位	長久手市	80	3.47
37位	豊明市	74	2.75
38位	みよし市	72	3.34
39位	熱田区	69	2.29

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
40位	犬山市	64	2.30
41位	知立市	56	1.94
42位	蒲郡市	55	1.88
43位	東浦町	53	2.89
43位	半田市	53	1.17
45位	愛西市	50	2.37
46位	大治町	49	4.27
47位	岩倉市	48	2.54
47位	津島市	48	2.02
49位	弥富市	47	3.03
50位	豊山町	44	7.46

犯罪率：1000世帯あたりの件数
平成25年1月1日現在の世帯数をもとに算出

3 被害の実態

(1) 被害総額及び被害品ランキング

住宅対象侵入盗

	合計	1件当たり
被害総額	約40億1,600万円	約53万8,000円
うち現金被害	約13億2,700万円	約17万8,000円

被害総額は40億円を超え、1件当たりの被害額は、約54万円と全国でも最多額でした。

全ての引き出し等を物色される被害もありますので、多額の現金は手元には置かず、貴重品類等は持ち出しのできない固定式金庫等に保管するなどしましょう。



○現金以外の被害品ランキング

順位	現金以外の被害品	認知件数
1位	貴金属・宝石・時計類	2,184
2位	バッグ・財布類	1,622
3位	カード類	1,259
4位	預金通帳類	616
5位	身分証明証類	566
6位	家電製品類	449
7位	娯楽用品類	406
8位	有価証券類	376
9位	衣料品類	227
10位	外国通貨	79

※ 被害品目が複数ある場合は、それぞれ計上しています。

(2) 空き巣と忍込み・居空きの実態

空き巣

- ・多くの犯罪が減少傾向にある中、平成24年、25年と2年連続増加しています。
- ・愛知県の特徴として、ガラスやドア等の建物部品を破壊等して侵入する被害が多く、施錠だけでは侵入を防げない現状となっています。
- ・夕方から夜にかけての時間帯（午後6時～午後9時くらい）に、電気のついていない家が留守であると思われるため狙われやすくなっていると思われます。

侵入手段



破壊等された侵入か所



侵入手段では、窓等を破壊等して侵入するものが全体の約84%を占めています。

破壊されたのは、窓が約76%です。

施錠を確実にし、CP建物部品や補助錠等を設置するなど、建物部品の強化をしましょう。



忍込み・居空き

- ・昨年と比べ「忍込み」は大幅に減少しましたが、「居空き」は増加しました。
- ・「忍込み」「居空き」共に、家人が在宅中に犯人が侵入するもので、侵入に気づいた場合に、強盗や殺人などの凶悪犯罪に発展する恐れがあるため非常に危険です。

侵入手段



侵入口（無施錠）



侵入手段では、「無施錠」箇所からの侵入が約56%と圧倒的に多く、無施錠の侵入口は、窓、玄関の順となっています。

就寝前の施錠確認や不在の部屋の施錠を確実にしましょう。



1 防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づく対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。



侵入までに時間のかかる建物部品を！



家の周りを明るく！



警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる！



住民同士の連携、不審者への声掛けを！

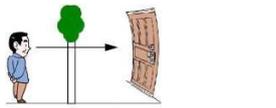
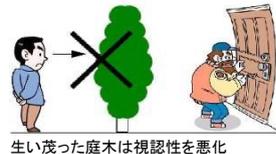


2 防犯環境設計

「防犯環境設計」とは、犯罪企図者に犯罪を「やりにくい」、「やめよう」と思わせる工夫をした建物や住環境の設計のことです。防犯環境設計には4つの基本的な原則（要素）があり、これらを組み合わせて導入することが重要です。

監視性の確保

- 庭木のせん定、花壇の配置、メッシュ柵の活用などにより、自然な監視性を確保する。



- センサーライト、門灯などを配置して夜間の見通しを確保する。



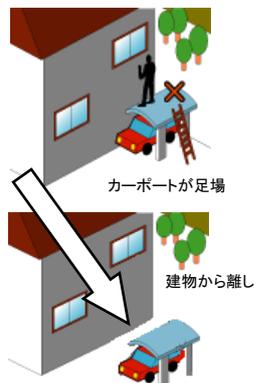
領域性の確保

- 住民同士のあいさつ運動などを展開し、不審者を寄せ付けない環境を形成する。



- 地域のコミュニティを活性化し、地域全体の領域性を高める。

- カギ付の門扉を設置するなど、建物そのものに近づけさせない。



- 塀、カーポート、物置を建物から離して設置し、高窓、2階への足場を利用させない。

接近の制御

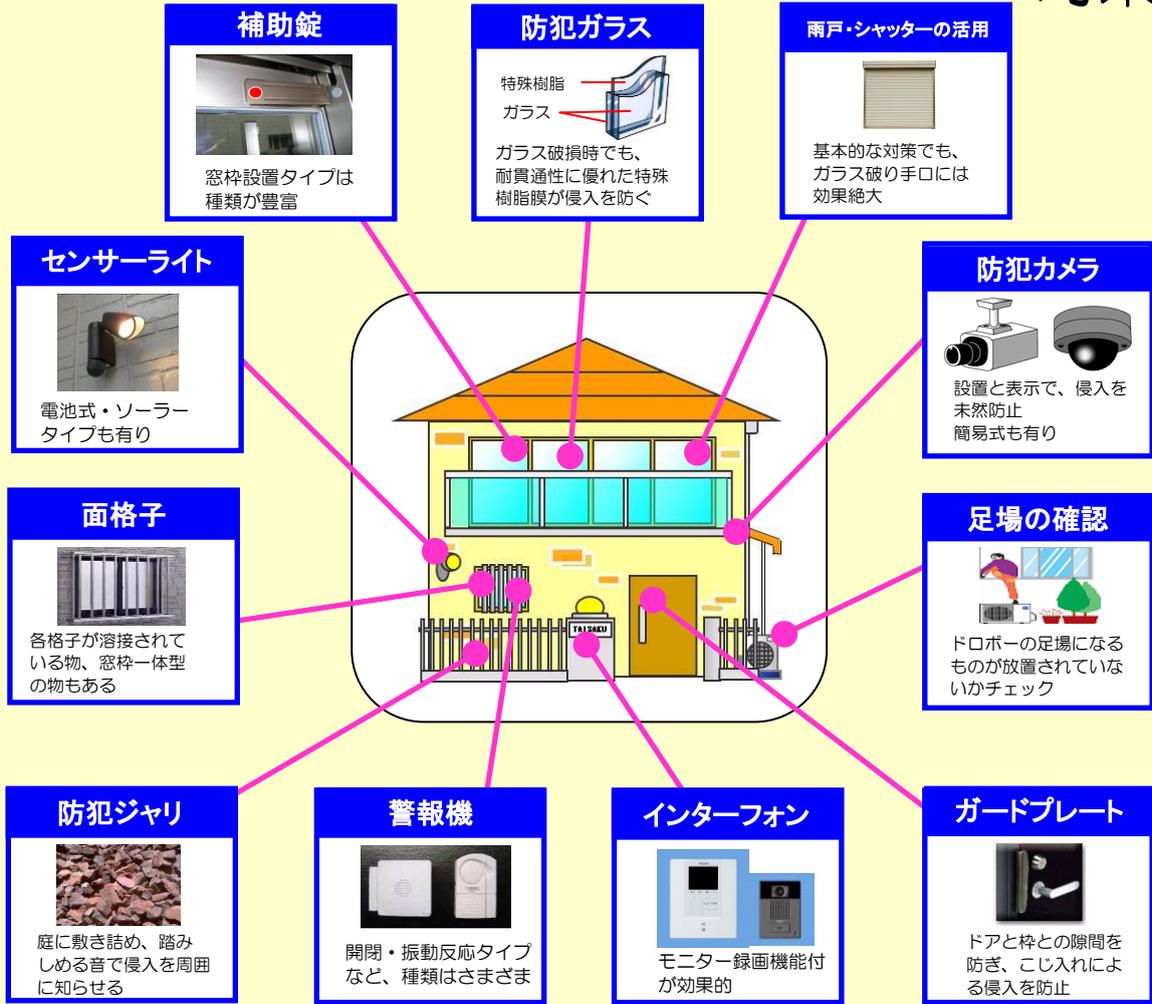


- 「CP建物部品」でドア、窓、面格子などを強化する。

- 補助錠、サムターンカバーなどで、窓、ドアの防犯性を補強する。

対象物の強化

3 具体的な防犯対策



ドロボーと闘う『CP建物部品』って何？



CPマーク

警察庁が国交省や経産省、さらに建物部品関連の民間5団体と共に設置した官民合同会議にて、ドアや窓等の各建物部品について耐性試験、検討を重ね、「侵入までに5分以上の時間を要する」等一定の防犯性能があると評価した建物部品を「防犯性の高い建物部品＝CP (Crime Prevention) 建物部品」として公表しました。

なぜ5分？ → ドロボーがあきらめる時間



侵入までに5分かかるとドロボーの約7割が犯行をあきらめるというデータがあります。



★ 身近な犯罪情報、不審者情報は
メールマガジン「パトネットあいち」から
お住まいの地域で発生した犯罪や不審者の情報をタイムリーに
配信します。登録は右のQRコードから！！

